

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 中武 功見
副会長 多賀 学昭
幹事 岩本 正志

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場 ホテル泉屋 2F

事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
ホテル泉屋内 TEL・FAX 0983-21-1636

第 2272 回 令和 5 年 10 月 26 日プログラム

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 各委員会報告 |
| それこそロータリー | 9. ガバナーアドレス |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 点 鐘 |
| 4. 会長の時間 | 11. |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

高鍋ロータリークラブテーマ

『明るく居心地の良いクラブから、希望の種子を』

第 2730 地区ガバナー 池ノ上 克

中部グループガバナー補佐 長嶺 貴臣

RI 会長テーマ

『世界に希望を生み出そう』

第 2730 地区テーマ 『平和を求め、希望あふれる、
明るいロータリーライフを進めよう』

10月の月間テーマ

経済と地域社会の発展間・米山月間

本日の例会案内

*ガバナー公式訪問

池ノ上克ガバナー・長嶺貴臣ガバナー補佐

*クラブフォーラム *100万ドルランチBOX

次週例会案内; 11月2日(第2273回)

*月初めのセレモニー

*雑誌紹介

*会員卓話

*例会終了後理事会

第 2271 回 例会内容 (10/19)

☆会長の時間

皆様お疲れ様です。

近頃、甘いキンモクセイの香りが漂いすっかり秋らしくなってきた今日この頃ですが、本日も高鍋ロータリークラブの例会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。また、先週は今月26日のガバナー公式訪問例会の後に行われるクラブフォーラムの予行練習ということで、その課題の一番目、「クラブ奉仕への取り組み状況と意識について」を福岡クラブ研修委員長に、二番目の課題、「クラブの強みと弱み(クラブが抱えている問題)について」を藤本クラブ戦略・危機管理委員長に行ってくださいました。お二人ともに指名後あまり時間の無い中で、それぞれ丁寧にお話しいただき、心より感謝申し上げます。来週の本番もどうぞよろしくお願いいたします。

加えまして、先週行われました国際ロータリー第 2730 地区大会に、我が高鍋ロータリークラブより 20 名の参加をいただき本当にありがとうございました。大会前日の 13 日金曜日には、フェニックスカントリークラブでの地区大会記念ゴルフ大会に図師さん・野添さん・長濱さん・

会長 中武 功見 君



岩本幹事に参加していただき、重ね重ね御礼を申し上げます。ここで皆様にお詫びが一つあります。先週の会長の時間で、ロータリーの友 10 月号に載っていた障害者の就労支援のお話を、本日の会長の時間でお話をさせて頂くと申し上げておりましたが、今回の地区大会参加でのお話が長くなりますので、また日を改めてということでご理解賜ればと思います。何卒よろしく願いいたします。

それでは改めまして、地区大会 1 日目の午前 9 時半からは、コンベンションセンター 2F ファウンテンで、ガバナー補佐・地区部門長・クラブ会長・幹事合同協議会が行われ、続く 10 時から地区指導者育成セミナーが開催され、私と岩本幹事で出席いたしました。セミナーの講師には、奈良県あすかロータリークラブ所属の中川基成 RI 会長代理が講師で、「ロータリーのラーニングモデルとクラブ文化」というテーマで、時代に即して変化していくロータリーを分かりやすくご説明いただきました。この「ラーニングモデル」とは、以前少しお話をいたしました、7 月 1 日よりロータリーの役職名が変わったということを知っていましたでしょうか。「クラブ研修リーダー」は「クラブ・ラーニングファシリテーター」に、「地区研修リーダー」は「地区ラーニングファシリテーター」に、また「地区研修委員会」は「地区ラーニング委員会」などに変更されています。つまり、講師が一方向的に講演する「研修モデル」から、グループワークなどを通じてマルチ方向で討論できる「ラーニングモデル」に変わったとい

うことで、これはDEIにおける多様性・公平・包摂に繋がっているということです。ただ、時代に即した変化は必要ですが、各クラブに根付いているそれぞれの文化は、微調整を加えながらも継続をしていくことは大事だとお話されていました。先週もお話いたしました、高鍋ロータリークラブで行われている「雑誌紹介」や、森幸子さんのピアノ演奏、ロータリー公園清掃やミニタグラグビーなどは、今後も継続したい固有の文化だと思います。しかし、地区補助金が出ているミニタグラグビーは、全く同じものだと補助の対象から外れてしまいますので、石田さんにおかれましては少しずつでもバージョンアップを図っていただきながら、継続して地区補助金等の申請が可能ないようにしていただければ、大変ありがたいことだと思います。地区指導者育成セミナーが11時に終了し、その後高鍋ロータリークラブの皆さんと合流し、オープニングセレモニーが11時30分から宮崎学園高校吹奏楽部により行われ、11時55分開会宣言・点鐘となりました。

この後の第1本会議の詳しい様子や、記念講演で「私の柔道哲学」と題した井上康生氏のお話や感想は、本日の地区大会報告で岩本幹事と児玉さん・長濱さんにお譲りいたしますのでよろしくお願いたします。私は第1本会議終了後、高鍋ロータリークラブの参加いただいた皆さまを、お見送りした後に行われました会員交流大懇親会と、大会2日目の第2本会議の様子をご報告致します。

まず会員交流大懇親会は、コンベンションセンター4F サミットホールで、着座で開催されました。オープニングセレモニーは、ソリスト河野幸子さんと、ピアノ伴奏の矢房加奈子さんのオペラで華やかに開幕し、豪華な宴が始まりました。ちなみに、今年12月に行われます第21回モーツァルト音楽祭にて、ソリストとして「カルミナ・プラナー」に出演予定ですので、ご興味のある方は是非ともモーツァルト音楽祭に行かれてください。食事はバイキングだったんですが、フェニックスの質の高い料理ばかりで、さらに宮崎牛のステーキ・江戸前寿司・ローストポーク・地鳥の炭火焼きがライブクッキングで供され、本当に豪華でした。もちろんフリードリンクですが、各テーブルには宮崎クラブの姉妹クラブである山形ロータリークラブの会員で男山酒造の会長から、池ノ上ガバナーのオリジナルラベルの純米大吟醸が並んでいました。この会員交流大懇親会に参加したのは、藤本前ガバナー補佐と私の二人でしたが、同じテーブルには佐土原ロータリークラブの靱田会長、2001年の会長で三度の幹事をした吉田さん、それに茂木先生と同じ精神科医の佐々木さんが同席されました。ここでまたよもやま話を一つ、佐々木さんは佐土原のピアささき病院の医院長で、UMKのアナウンサー佐々木六華さんの御父上なんですね、そして現在エストニアからの青少年交換留学生がホームステイ中で、その留学生の女性が同じテーブルに何度も来てくれて場が大変盛り上がりました。その後、他のテーブルに挨拶回りに行き他のクラブとの交流を図りましたが、その中でもガバナーノミニーとゆっくりお話ができたことが大変有意義でした。ガバナーノミニーは延岡中央ロータリーク

ラブの桑原英一さんで、有限会社は一と介護の会長で、私と同じ福祉サービスを行っています（規模は全く違います）。お話をしている中で、息子さんと2月にお会いしていることが分かりました。息子さんは延岡青年会議所の会員で、本年度宮崎ブロック協議会の会長をしているということで、今年の2月に延岡で、私の同期である宮崎県内青年会議所理事長の同窓会が行われた際に、本年度ブロック長としてあいさつをされ名刺交換をしていました。そのような繋がりから、高鍋ロータリークラブの川上年度のガバナーという縁で、50周年へのご協力をお願いいたしました。誠に残念ながら、高鍋からの代行が8時に来てしまいましたので、アトラクションの村上三絃道の演奏や、「手に手つないで」の合唱はできませんでしたが、本当に心の底から楽しんだ懇親会でした。

翌日は、サミットホールで8:50開会・点鐘で第2本会議が開幕し、「ロータリー、次世代に希望の光を！」というテーマでトークセッションが行われました。登壇したのは、中川基成RI会長代理・池ノ上克ガバナー・谷次一研(かずと)ロータクト地区代表の三人で、テーマに沿ったトークセッションが行われました。まず冒頭、中川RI会長代理からゴードン・マッキナリーRI会長のテーマである「世界に希望を生み出そう」から、それが次世代を担うロータクトを中心に話が進み、谷次ロータクト地区代表がそれを受ける形で展開し、次世代に希望の光がとるためには何よりもDEIの精神が大事で、その中でもEのequity(公平)を根底にして、青少年に限らず女性や高齢者でも誰もがチャンスを得られる機会の均等が肝要である。と、結論付けられました。また、ロータリーや他の民間非営利団体の活動の根源となるファンデレイジングには、若者の発想や世界とつながるSNSでの発信が必要で、それはロータリーの場合にはロータクトが一翼を担っているなど様々なお話が続き、60分があつという間に経過いたしました。さらに第2本会議では、米山奨学生の紹介と挨拶があり、各種表彰がありました。表彰の中では、2022-23年度の地区功労賞として当時の藤本ガバナー補佐が表彰を受けられましたが、第2本会議の出席者は藤本さんの他は野添さんと私だけで、寂しい思いをおかけし大変申し訳ございませんでした。また、登壇はありませんでしたが、石井先生のおかげで100%ロータリー財団寄付クラブと「Every Rotarian, Every Year」クラブの2項目で高鍋ロータリークラブが表彰されましたことをご報告申し上げます。各種表彰の後、RI会長代理所感、ガバナー謝辞と続き11:40に閉会・点鐘となり、第2本会議も終了いたしました。その後、12:15から13:00までフェアウェルパーティーが行われたようですが、私は第2本会議終了時点で高鍋への帰途につかせていただきました。

今回、この地区大会を通じて改めてロータリーの素晴らしさと、地区行事の楽しさを身に染みて実感いたしました。思い起こせば、私が入会した長谷川年度の地区大会は、コロナ禍の影響によるハイブリット大会でしたので参加できませんでした。長濱年度の井福ガバナーの地区

大会は都城で日帰り参加、野添年度の山ノ内ガバナーの地区大会は鹿児島一泊でしたが、両年度共に第1本会議だけの参加でした。今回、地区大会プログラムのほぼ全体に参加することができ、ロータリーの組織とネットワークを実感し、理念やビジョンを深く学べた気がしますし、心底地区大会を楽しむことができました。来年多賀年度に鹿児島県霧島市で開催される時には、ぜひ前夜祭であるR I会長代理を囲んでの晩餐会から参加したいと思いました。少し長くなりましたが、以上が私の地区大会参加のご報告です。

それでは、本日もこの例会が、少しでも皆様方の入って学ぶ機会になればと思います。どうぞ最後までロータリーをお楽しみください。

☆幹事報告

<文書案内>

*九州4地区合同 イメージ
向上事業開催のご案内
日時 2023年10月28日
10時~18時
場所 NMビルオーロラビ
ジョン
<エンドポリオ活動>

幹事 岩本 正志 君



☆BOX披露

親睦活動委員長 岩切 一浩 君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

【坂田師通君】先週会長ノミニ
川上君を囲む会をしました。
参加して頂いたパスト会長、
中武会長、岩本幹事有難うご
ざいました。



☆出席報告

出席委員長 関 康仁 君

出席状況 (10/19)

会 員 数	41 名
出席会員数	32 名
ホーム出席率	80.00%
前々回修正出席率	90.00%



ソングリーダー
多賀学昭君



ピアノ演奏 森幸子さん

☆地区大会報告 (2023. 10. 13-15)

児玉 幸則 君

私が印象に残った話を大会の報告に代えさせていただきます。

まず、中川R I会長代理が挨拶された中で、地区テーマに掲げている「平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフ」に触れられ、平和について、マザーテレサがおっしゃった『世界平和のためにすべきことは、「家に帰って、家族を大切にすること』を紹介されました。「メンタルヘルスへの取り組み」については、マッキナリー会長の弟さんの話をされ、言葉が少し違うかもしれませんが、メンタルにならないためにも本人が「話す勇氣」を持つことと「勇氣(思いやり)を持って話を聴く」ことと言われたことが印象に残りました。

次に池ノ上ガバナーの挨拶では、マッキナリー会長のテーマ「世界に希望を生み出そう」に触れられ、希望には土壌となる「平和」が必要であり、「メンタルヘルスが大切」であると話されていました。そして、宮崎RCの岡本会長の挨拶でも、マッキナリー会長のテーマに触れられ、鹿児島、宮崎は「天孫降臨」の地と言われており、希望を生み出す原点となったこの場所に最もふさわしいテーマであると話されていました。

青少年活動報告については、宮崎学園のインターアクトクラブの活動の紹介があり、5年前頃から途上国支援で、日本の3分の1の面積のマラウイ共和国(アフリカ)のバックを通信販売されているそうです。大変素晴らしい活動だと思いました。それから、かわいらしい青少年交換留学生4名が、たどたどしい日本語で自己紹介をしたのが印象的でした。でも留学が終わるころには、日本語がペラペラになって帰国されるとのことでした。岡本会長が4名の方それぞれに英語と日本語を交えて、いろいろと質問をされていました。

最後になりますが、井上康生さんの講演「私の柔道哲学」については、ロンドンオリンピックで、男子は金メダルが一個も取れず(女子の一個)、その後監督になった時、選手やスタッフたちに、一番最初に「覚悟を決めろ(世界一になる)」という話をされ、相当覚悟を持って臨んでいたのだと感じました。

また、日本代表になると「国のため」、「日本のため」という思いが強くなるが、「己のため」に闘うことを忘れないことが、自分の力を発揮できると話されていましたし、一流選手と二流選手と言われる違いは、「強い自己肯定感(自分ならできる。必ず世界チャンピオンになれるという気持ち)」しっかり持っており、また、「リスクマネジメント力(最悪なケースを想定し、綿密に準備を重ねて、隙を無くしている)」でより高いレベルに成長していくと話されていました。トップに立っている方の目だと思しますので、自分から見たら、一流なのかそれ以外なのかは、多分見分けがつかないと思いました。日本発祥の柔道が今や「JUDO」と表



記されていることから、国際的なスポーツとなっており、以前は「柔よく剛を制する」と言われていたが、今は筋骨隆々の外国人と戦うためには「柔と剛」の兼ね備えが必要であると話されていました。

以上が印象に残った話をさせていただきました。



地区大会報告
長濱 博君



社会奉仕委員長
長谷川修身君



本日の食事



テーブルの花



- 四つのテスト
言行はこれに照らしてから
- 1、真実かどうか
 - 2、みんなに公平か
 - 3、好意と友情を深めるか
 - 4、みんなのためになるかどうか